

# KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])  
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名	科目コード	単位数	開講期
特許情報実務特論	Z 148	1 単位	1 学期
Applied Patent Information Practice			
科目分野	課程領域		
知的財産戦略	知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー	
野崎 篤志	—	メールアポイントにて随時	

関連している科目(履修推奨科目)		
IPランドスケープ要論	知的財産マネジメント要論	ビジネス分析要論
知的財産戦略実務特論 1, 2	知的財産評価実務特論	ビジネスインテリジェンス特論

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

本科目では、企業・研究機関を取り巻く各種技術情報の中でも特許情報に焦点をあてて、事業戦略や研究開発戦略、新規製品・サービス開発、知財戦略立案へ生かすための調査・分析スキルの習得を目的とする。また特許情報は企業・研究機関における研究開発成果の一部であることから、特許以外の各種情報(学術文献情報、ビジネス情報、マーケット情報など)と組み合わせることの必要性・重要性を踏まえ、これら特許情報以外の調査方法についても講義形式だけではなく、PC演習・ディスカッションを通じて学ぶ。最終回ではケーススタディを用いて特許および特許以外の情報分析結果をアイデア創出に活用するワークショップを行う。最終レポートとして履修者各自が設定したテーマに沿った分析レポートを課す。

本科目を通じて下記のスキル習得を目指す。

- 事業戦略・研究開発戦略・知財戦略における特許情報・意匠情報・商標情報の位置づけおよびその活用方法
- 特許および意匠・商標情報調査・分析およびパテントマップの基礎知識
- J-PlatPat, Google Patents, Tokkyo.Aiや学術文献・ビジネス情報などの無料データベースとその利用方法
- MS ExcelおよびLens.orgを用いたパテントマップ作成手法

### 到達(修得)目標

特定テーマ(技術動向、競合他社など)や新規事業開発、M&A・提携先探索等を目的とした知財情報調査およびパテントマップ作成・分析を自ら行い、分析結果から戦略提案・課題発見等を行い組織へ働きかけることができるスキルを習得すること

### 受講対象者

- IPランドスケープ要論で学んだ内容を知財情報分析という形で実践し、組織に貢献したい人
- 事業戦略、研究開発戦略や製品・サービス開発、知財戦略・知財実務において知的財産情報(特に特許情報)を活用したいと考えている人全般(例:経営企画・技術企画担当者、知財担当者、研究者・技術者、コンサルタントなど)

### 履修上の注意事項やアドバイス

- 授業にはPCを持参すること(毎回インターネットや無料データベースを用いた実習を行う)
- 本授業ではMS Excel(バージョンは2013以降を推奨)を用いるが、MS Excelの基礎知識に自信がない場合は書籍等で予め習得しておくこと
- 講義内で用いるウェブサイトや各種ドキュメントについては、本授業用ウェブサイトに掲載(授業にてURLを連絡)

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

### コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	○

### プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 独自コンテンツの講義・ディスカッション	講義・ディスカッション	配布スライド資料
2 特許・意匠検索演習	PC演習・ディスカッション	J-PlatPat, Espacenetなど
3 学術文献・ビジネス情報検索演習	PC演習・ディスカッション	官公庁ウェブサイト, CiNiiなど
4 特許情報分析・パテントマップ作成演習	PC演習・ディスカッション	J-PlatPat, MS Excel
5 パテントマップ分析グループワーク	ケーススタディ・グループディスカッション	配布スライド資料

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席	20%	・毎回、事務室より出席簿を準備 ・授業への積極的な貢献(質疑応答・ディスカッション)を評価 ・最終レポートは受講生各自で設定した分析テーマに基づく特許情報分析・パテントマップ作成を行い、パワーポイントにて提出
発言等の授業参加	20%	
課題提出	20%	
最終レポート	40%	
<b>合計</b>	<b>100%</b>	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
<b>テキスト</b> (購入が必要)	特になし	毎回資料を配布
<b>参考図書</b> (購入は任意・講師推奨)	野崎篤志、特許情報調査と検索テクニック入門 改訂版、発明推進協会 野崎篤志、特許情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版、発明推進協会 野崎篤志、調べるチカラ 情報洪水を泳ぎ切る技術、日本経済新聞出版社 グロービス、「分析」の基礎技術、PHP研究所	本格的に特許調査・分析を行いたい受講者は参考図書購入を推薦するが、配布資料でも一通りの知識を得ることは可能
参考URL		
特許庁 経営戦略に資する知財情報分析・活用に関する調査研究: <a href="https://www.jpo.go.jp/support/general/chizai-jobobunseki-report.html">https://www.jpo.go.jp/support/general/chizai-jobobunseki-report.html</a> 特許庁 知的財産権活用事例: <a href="https://www.jpo.go.jp/support/example/index.html">https://www.jpo.go.jp/support/example/index.html</a> 特許庁 特許検索ポータルサイト: <a href="https://www.jpo.go.jp/support/general/searchportal/index.html">https://www.jpo.go.jp/support/general/searchportal/index.html</a> 特許庁 特許出願技術動向調査等報告書: <a href="https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-houkoku/tokkyo/index.html">https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-houkoku/tokkyo/index.html</a> 特許庁 特許情報提供サービスに関する調査報告書について: <a href="https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/service/index.html">https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/service/index.html</a> 工業所有権情報・研修館 研修教材等の提供: <a href="http://www.inpit.go.jp/jinzai/kensyu/kyozai/index.html">http://www.inpit.go.jp/jinzai/kensyu/kyozai/index.html</a> 日本特許情報機構 Japio YEAR BOOK: <a href="http://www.japio.or.jp/00yearbook/index.html">http://www.japio.or.jp/00yearbook/index.html</a> Keizai report.com: <a href="http://www3.keizaireport.com/">http://www3.keizaireport.com/</a> グローバルインフォメーション: <a href="https://www.gii.co.jp/">https://www.gii.co.jp/</a>		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1	<イントロダクション:情報調査・分析の基礎> ・本講義の目的と内容、レポート課題等について ・情報収集解析の目的と重要性	【事前準備】知的財産領域の科目未履修の場合は特許の入門書を読んでおく	野崎	90分
	イベント 講義・ディスカッション			
2	<情報調査・分析と戦略論> ・企業活動と情報調査・分析 ・情報調査・分析に役立つ戦略論・フレームワークの基礎	【課題】最終レポートテーマ選定およびレポートテーマについて戦略論の観点から分析	野崎	90分
	イベント 講義・ディスカッション			
3	<特許情報および各種情報の調査方法・データベース演習> ・特許調査の目的と種類 および 特許公報の特徴 ・J-PlatPatとその調査方法および分析に向けた準備	【課題】最終レポートテーマに関する特許以外の情報について調査・リストアップして提出	野崎	90分
	イベント PC演習・ディスカッション			
4	<特許調査の基礎とJ-PlatPatを用いた特許・意匠検索演習> ・J-PlatPatと特許検索式の構築 ・キーワード・特許分類の選定	【事前準備】J-PlatPatの特許・実用新案検索メニューを用いて最終レポートテーマについて簡単なキーワード検索を行っておく	野崎	90分
	イベント PC演習・ディスカッション			
5	<Google Patents・DEPATISnetなどを用いた海外特許・意匠検索の基礎> ・各種海外特許・意匠・商標検索データベース ・Google Patents、Lens.org、DesignViewとその調査方法	【事前準備】Google Patents、Lens.org、DesignViewにアクセスして簡単な検索を行っておくこと	野崎	90分
	イベント PC演習・ディスカッション			
6	<Excel・無料ツールを用いた特許分析・パテントマップ作成①> ・特許分析・パテントマップの基礎知識 ・MS Excelによる関数・機能を用いたデータ整理	【事前準備】MS Excelの基本操作が不得手な場合、入門書(できるシリーズ等)で基本操作を習得しておくこと	野崎	90分
	イベント PC演習・ディスカッション			
7	<Excel・無料ツールを用いた特許分析・パテントマップ作成②> ・ピボットテーブルによるデータ集計とパテントマップ作成 ・パテントマップの読み解き方	【課題】最終レポートテーマ(パワーポイント5ページ程度)のストーリーボードを作成して提出	野崎	90分
	イベント PC演習・ディスカッション			
8	<特許および各種情報分析結果に基づくアイデア創出>・特許情報・各種情報分析結果の活用方法 ・パテントマップを活用したアイデア創出ワークショップ	【事前準備】事前配布するアイデア創出ワークショップ用資料を読んでおくこと	野崎	90分
	イベント アイデア創出ワークショップ(ケーススタディ・グループディスカッション)			

※ 講義日程は、学事ポータル上の講義日程表をご参照ください。  
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。  
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。